



お薬の保管方法



お薬、特に粉薬は時間とともに吸湿して変質してしまいます。ここでは変質を防ぐための保管方法をご紹介します。

1. 気密容器に保管しましょう。
2. 乾燥剤と一緒に入れましょう。
3. 乾燥剤は定期的（1ヶ月目安）に交換しましょう。

1. 気密容器に保管しましょう。

薬を保管しておくのには、チャック付き袋や缶、フタつきのプラスチック容器など、しっかり口を閉じることができるものが便利です。

ただし、開け閉めを頻繁にする場合には、缶やフタつきのプラスチック容器よりもチャック付き袋を使用したほうが吸湿しにくいです。透明なものより、内側が銀色の袋のほうが効果的です。

いずれも中の空気をしっかり抜いてから口を閉めましょう。

チャック付き袋は、使用を続けると穴が開いたり、口が閉じにくくなったりします。定期的に交換しましょう。



2. 乾燥剤を一緒に入れましょう。

容器に乾燥剤を入れると効果的です。

乾燥剤は購入することもできますが、海苔やお菓子などと一緒に入っているものを再利用することができます。

海苔、おせんべいに入っているもの
(生石灰)



パンパンに膨らんだら効果終了。

お菓子に入っているもの
(シリカゲル)



たっぷり使いましょう。
青い粒がピンクになったら取り換え時。

※脱酸素剤は乾燥剤とは違います。



3. 乾燥剤は交換しましょう。

乾燥剤は、時間がたつと効果がなくなります。

1ヶ月を目安に定期的に交換しましょう。

～長期間にわたって服用する薬の望ましい保管方法の例～
大きめの缶やふたつきのプラスチック容器に入れておき、
1～2週分ずつをチャック付き袋に移して使っていくとよいです。



薬は小児の手の届かないところで、高温多湿を避けて保管しましょう。